学校番号	３００１

令和８年度　農業科（環境緑化科）

教科	農業	科目	造園植栽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	造園植栽（実教出版）						
副教材等	造園施工必携　（日本造園組合連合会） 葉っぱで見分け五感で感じる樹木図鑑（ナツメ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目の目標は人々の生活環境を安全で緑豊かな空間として提供するための知識と技術を身に着けることです。時代とともに、植栽工事・管理の方法は変化し、それに伴って使用される道具や材料も変化しており、環境に配慮した新しい資材の開発も進んでいます。２年次の実習で身に着けた造園植栽に関する知識と技術を応用し、植物の特性や状態に応じた管理をおこなえるようになりましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】
造園植栽における、植物の育成や緑地管理に使用する材料・道具について適切な知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
習得した知識をもとに、植栽についての目的や環境に応じた合理的な材料や環境の保全に配慮した施工・管理方法を考え、実践している
【学びに向かう力、人間性等】
自然材料を景観的かつ機能的に取り扱い、安全で緑豊かな空間を提供できる能力と態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	体験的な学習を通して、多種多様な材料の特性や性質を理解し、適切に材料や道具を選択し活用する技術を習得している。	習得した知識をもとに、植栽についての目的や環境に応じた合理的な材料や環境の保全に配慮した施工・管理方法を考え、実践している。 安全に気を付けて効率的に作業に取り組んでいる。	環境緑化の現状や今日的な環境保全に関する課題などについて自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	植栽管理	景観に配慮した管理	a:樹木の仕立ての目的や剪定の種類と方法について理解している。 b:仕立ての目的により、切除すべき枝を見分け剪定できる。 c:整枝・剪定について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	定期考査 ノート	定期考査 実習成果 ノート レポート	学習状況 自己評価
2	植栽施工・管理	景観に配慮した管理 配植の方法 移殖と根巻き 保護と養生	a:掘り取りから植え付けまでの作業手順や移植の適期を理解している。 b:植え付け後に活着するため、樹木の葉や根の状態を観察し、適切な作業を施すことができる。 b:施工計画や同線、景観との調和を考慮し配植を考えることができる。 c:移植工について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	定期考査 ノート	定期考査 実習成果 ノート レポート	学習状況 自己評価
3	造園植栽施工・管理	樹木の整枝･剪定 樹木の根巻き、移植 施肥	a:掘り取りから植え付けまでの作業手順や移植の適期を理解している。 b:植え付け後に活着するため、樹木の葉や根の状態を観察し、適切な作業を施すことができる。 c:移植工について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	定期考査 ノート	定期考査 実習成果 ノート レポート	学習状況 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度